

2025年3月期 第3四半期 決算概要

2025年2月13日

テルモ株式会社

Chief Financial Officer

萩本 仁



おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

ハイライト

■ 売上収益

- 四半期、Q3累計ともに過去最高
- 北米が牽引しグローバルで需要拡大が継続、為替も寄与し全社で+13%の伸長

■ 利益

- 営業利益・調整後営業利益・当期利益の全てにおいて、四半期、Q3累計ともに過去最高
- 価格政策と収益改善策の順調な進捗により売上成長を大幅に上回る伸長

P&L, FCF実績

- 売上収益：グローバルで需要が拡大。TIS、血液センター向けビジネスが牽引
- 営業利益：売上増、価格政策、収益改善策の順調な進捗による利益率の改善

金額（億円）	FY23 Q3累計	FY24 Q3累計	増減率	為替除く増減率
売上収益	6,830	7,722	13%	8%
売上総利益 (%)	3,548 (52.0%)	4,221 (54.7%)	19%	12%
一般管理費 (%)	2,022 (29.6%)	2,257 (29.2%)	12%	7%
研究開発費 (%)	491 (7.2%)	554 (7.2%)	13%	9%
その他収益費用	20	-76	-	-
営業利益 (%)	1,055 (15.5%)	1,335 (17.3%)	27%	14%
調整後営業利益 (%)	1,197 (17.5%)	1,593 (20.6%)	33%	22%
税引前利益 (%)	1,057 (15.5%)	1,318 (17.1%)	25%	
当期利益 (%)	799 (11.7%)	986 (12.8%)	23%	
フリー・キャッシュ・フロー	381	939	146%	

FY23 Q3	FY24 Q3	増減率
2,391	2,636	10%
1,266 (52.9%)	1,451 (55.1%)	15%
707 (29.6%)	777 (29.5%)	10%
173 (7.3%)	187 (7.1%)	8%
5	-30	-
390 (16.3%)	458 (17.4%)	17%
441 (18.5%)	553 (21.0%)	25%
393 (16.4%)	467 (17.7%)	19%
298 (12.5%)	354 (13.4%)	19%

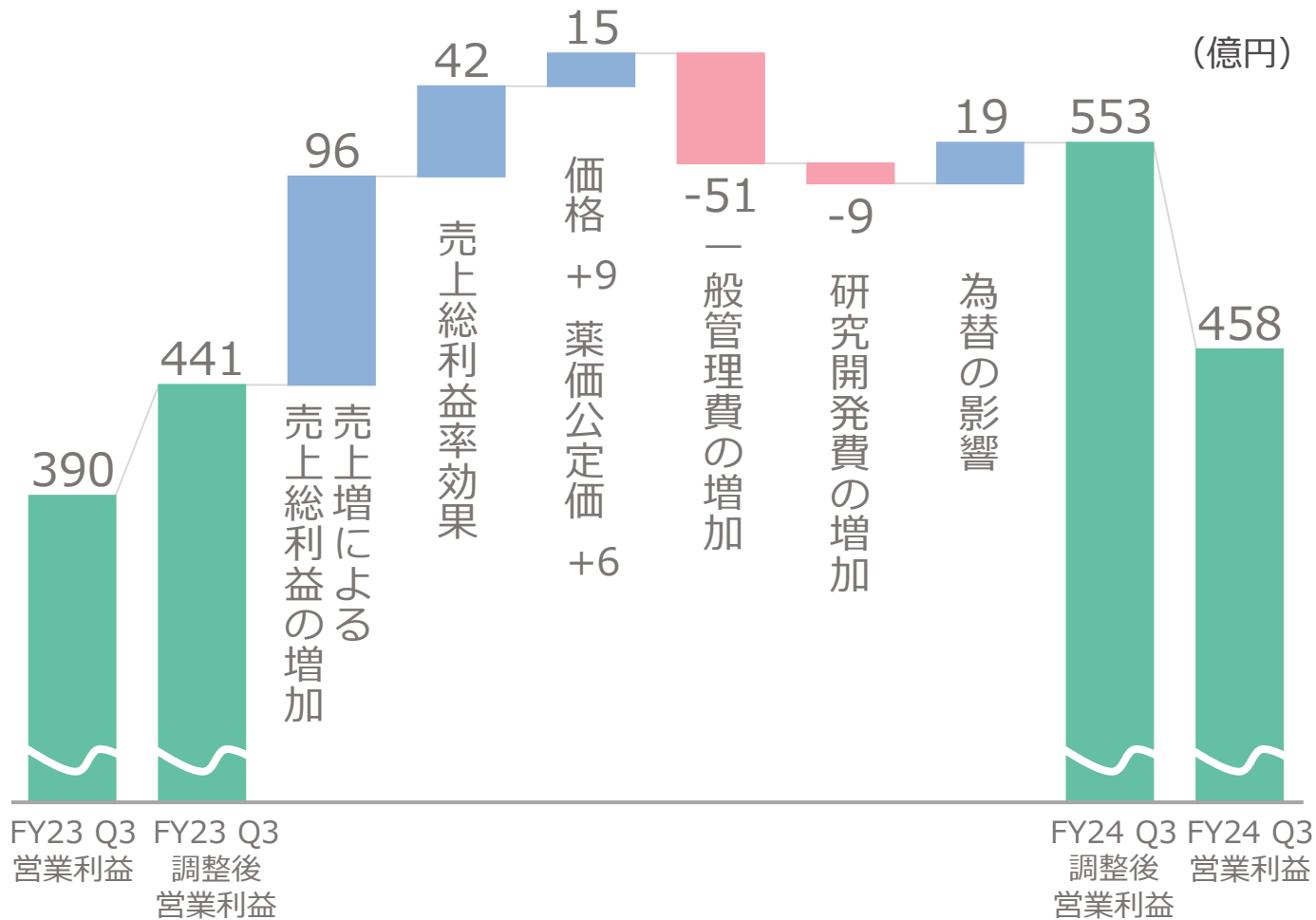
期中平均レート(USD/EUR)

143円/155円

153円/165円

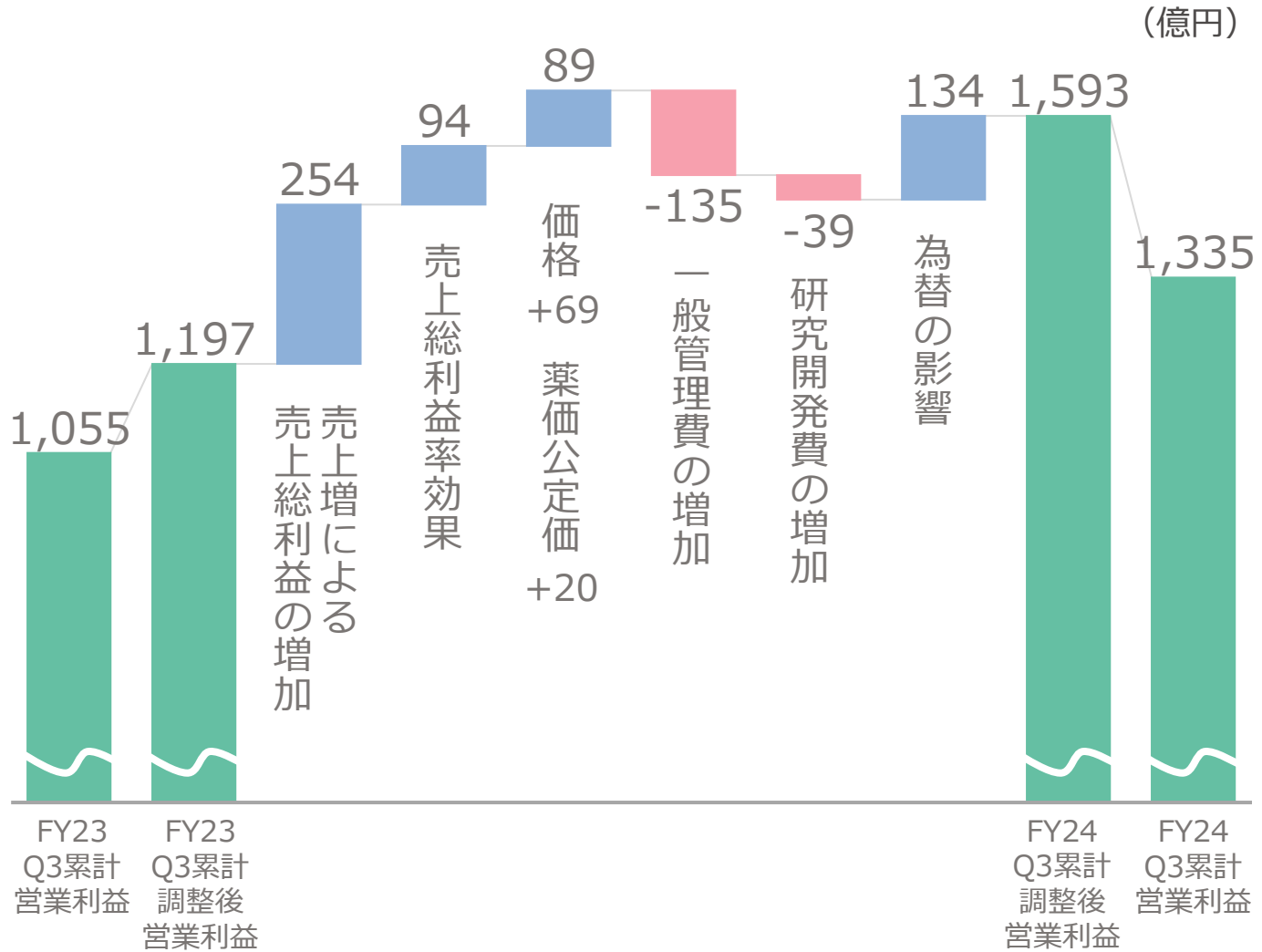
148円/159円 152円/163円

営業利益増減分析 (Q3) : 需要拡大の継続による売上増加が貢献



- 売上増による売上総利益の増加：
TIS・血液センター向けビジネスが牽引
- 売上総利益率効果：
収益改善策の効果に加え、前年同期は一時費用を計上
- 価格：
中国VBPのマイナス影響を海外での価格政策効果で相殺、薬価改定もプラスに寄与
- 一般管理費・研究開発費の増加：
売上好調による賞与引当の増加
- 為替の影響：
フロー +44億円、ストック -25億円

営業利益増減分析 (Q3累計) : 好調な売上と価格政策が貢献

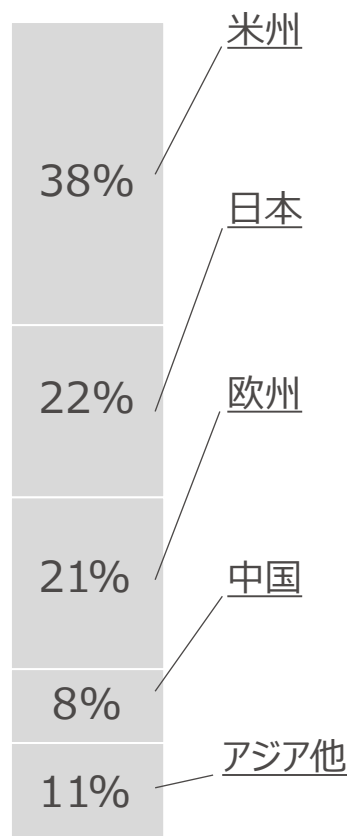


- 売上増による売上総利益の増加 : TISを中心に心臓血管が牽引
- 売上総利益率効果 : インフレ影響の緩和と収益改善策の効果
- 価格 : グローバルで価格政策の見直しを推進
- 一般管理費・研究開発費の増加 : 事業拡大に伴う増加も、対売上比率は改善
- 為替の影響 : フロー +104億円、ストック +30億円

地域別売上収益：米州・欧州が牽引し、グローバルで順調に進捗

(C&V: 心臓血管、TMCS: メディカルケアソリューションズ、TBCT: 血液・細胞テクノロジー
TIS: 血管内治療システム、ニューロ: ニューロバスキュラー、CV: カードイオバスキュラー、HCS: ホスピタルケアソリューション、LCS: ライフケアソリューション、PS: ファーマシューティカルソリューション)

FY24 Q3累計
地域構成比



売上収益 (億円)		FY24 Q3累計 増減率	コメント
	Q3累計 Q3	() 内は為替影響除く	
FY22	2,124		
FY23	2,382	22%	全カンパニーが為替影響を除いても二桁伸長。C&VではTISとニューロが、TBCTでは血液センター向けビジネスが牽引
FY24	2,906	(16%)	
	1,570		
	1,587	4%	TMCSが牽引して伸長。HCSは価格政策が貢献、PSも概ね計画通り進捗
FY24	1,649		
	1,186		
	1,390	15%	C&Vでは全事業で需要拡大が継続。TMCSではPSが、TBCTではアフレス治療が好調
FY24	1,593	(8%)	
	566		
	601	11%	C&VではTISでVBPの影響により価格が下落する一方、物量増加で伸長。ニューロでは大幅伸長が継続
FY24	665	(4%)	
	733		
	870	5%	FY23に好調であった血液センター向けビジネスは減収も、C&Vではニューロが、TMCSではPSが為替影響を除いても二桁伸長し牽引
FY24	910	(0%)	

参考資料

P&L (四半期推移)

(億円)

		FY23 Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY24 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)
売上収益		2,391	2,389	2,582	2,505	2,636
売上総利益		1,266 (52.9%)	1,243 (52.0%)	1,376 (53.3%)	1,395 (55.7%)	1,451 (55.1%)
一般管理費		707 (29.6%)	737 (30.9%)	748 (29.0%)	732 (29.2%)	777 (29.5%)
研究開発費		173 (7.3%)	199 (8.3%)	174 (6.7%)	194 (7.7%)	187 (7.1%)
その他収益費用		5	39	-8	-38	-30
営業利益		390 (16.3%)	346 (14.5%)	446 (17.3%)	431 (17.2%)	458 (17.4%)
調整後営業利益		441 (18.5%)	371 (15.5%)	511 (19.8%)	529 (21.1%)	553 (21.0%)
四半期 平均レート	USD	148円	149円	156円	149円	152円
	EUR	159円	161円	168円	164円	163円

販管費（四半期推移）

(億円)

		FY23 Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY24 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)
人件費		371	373	398	384	406
販促費		54	54	52	47	54
物流費		49	51	51	59	56
償却費		65	66	70	68	70
その他		168	192	178	175	190
一般管理費 (売上比率)		707 (29.6%)	737 (30.9%)	748 (29.0%)	732 (29.2%)	777 (29.5%)
研究開発費 (売上比率)		173 (7.3%)	199 (8.3%)	174 (6.7%)	194 (7.7%)	187 (7.1%)
合計 (売上比率)		881 (36.8%)	937 (39.2%)	922 (35.7%)	926 (37.0%)	963 (36.6%)
四半期 平均レート	USD	148円	149円	156円	149円	152円
	EUR	159円	161円	168円	164円	163円

販管費（前年同期比）

（億円）

	FY23 Q3累計	FY24 Q3累計	増減	増減率	為替除く 増減率	FY23 Q3	FY24 Q3	増減	増減率
人件費	1,056	1,188	132	12%	7%	371	406	35	9%
販促費	147	153	6	4%	0%	54	54	0	0%
物流費	142	166	23	17%	12%	49	56	8	16%
償却費	184	207	24	13%	8%	65	70	5	8%
その他	493	543	50	10%	6%	168	190	22	13%
一般管理費	2,022	2,257	235	12%	7%	707	777	70	10%
（売上比率）	(29.6%)	(29.2%)				(29.6%)	(29.5%)		
研究開発費	491	554	63	13%	9%	173	187	13	8%
（売上比率）	(7.2%)	(7.2%)				(7.3%)	(7.1%)		
合計	2,513	2,811	298	12%	7%	881	963	83	9%
（売上比率）	(36.8%)	(36.4%)				(36.8%)	(36.6%)		

調整後営業利益：調整額

(億円)

	FY23 Q3累計	FY24 Q3累計	FY23 Q3	FY24 Q3
調整後営業利益	1,197	1,593	441	553
調整① 買収無形資産の償却費	-147	-161	-50	-52
調整② 一時的な損益	5	-97	-1	-43
営業利益	1,055	1,335	390	458

※ 調整項目に含まれる費用・収益の例

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

調整②「一時的な損益」の内訳	FY23 Q3累計	FY24 Q3累計
事業再編費用	-11	-79
オリンパステルモバイオマテリアル株式売却益	13	-
TBCT減損損失	-	-25
TBCT土地売却益	-	14
その他	3	-7

設備投資、償却費、研究開発費

(億円)

	FY21	FY22	FY23	FY24Q3累計	FY24予想
設備投資	692	758	784	564	930
償却費	532	635	702	585	770
買収無形償却費	161	188	200	157	200
それ以外	371	447	502	428	570

設備投資は、建設仮勘定計上ベース・リース含まず、償却費はリース償却（IFRS16）含まず

- 24年度Q3実績（564億円）：CDMO（開発製造受託）等生産体制強化のため甲府工場内の新棟建設
他、TIS、血液・細胞テクノロジーの増産設備、原料血漿採取関連、R&D投資、
基幹システム（SAP）等のIT投資を継続

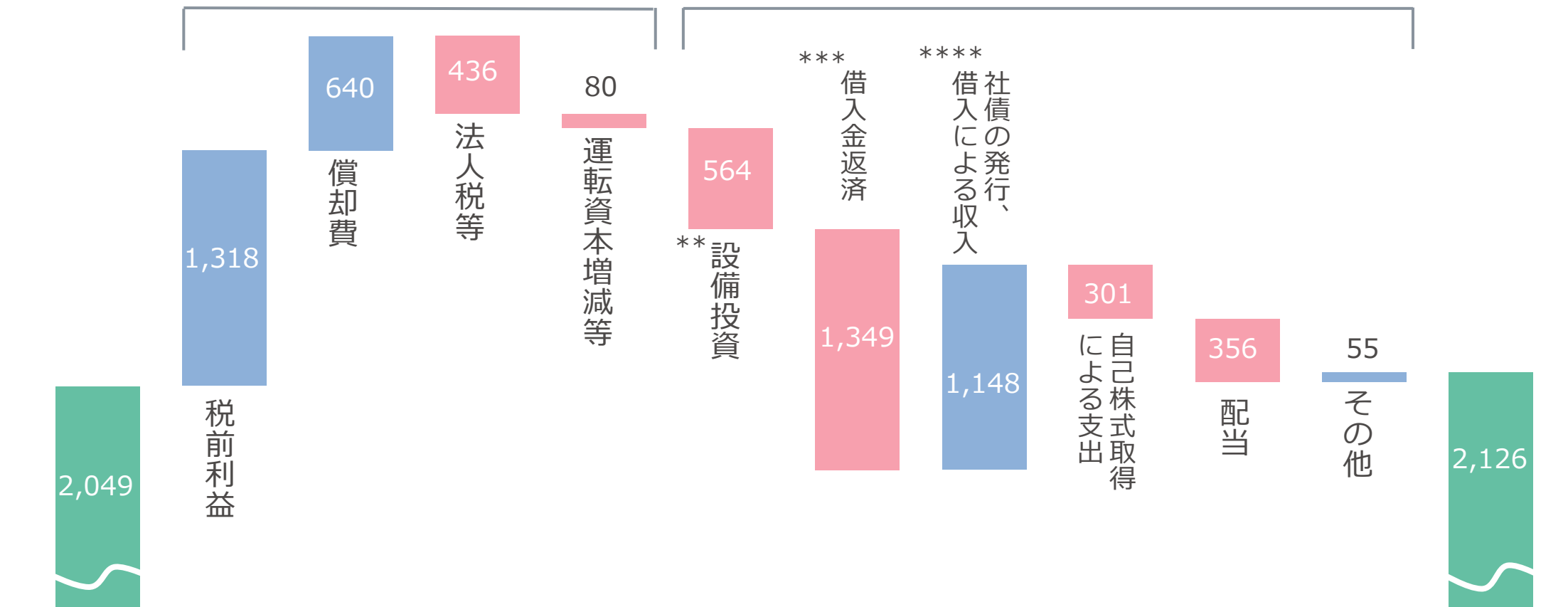
	FY21	FY22	FY23	FY24Q3累計	FY24予想
研究開発費	518	616	691	554	715

キャッシュフロー（Q3累計）

営業キャッシュフロー
+1,443

投資・財務キャッシュフロー
-1,366

(億円)



* FY23末
現預金残高

- * 期末現預金残高はB/Sの「現金及び現金同等物」と整合
- ** 建設仮勘定計上ベース
- *** デリバティブ決済考慮後
- **** 「短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額」を含む

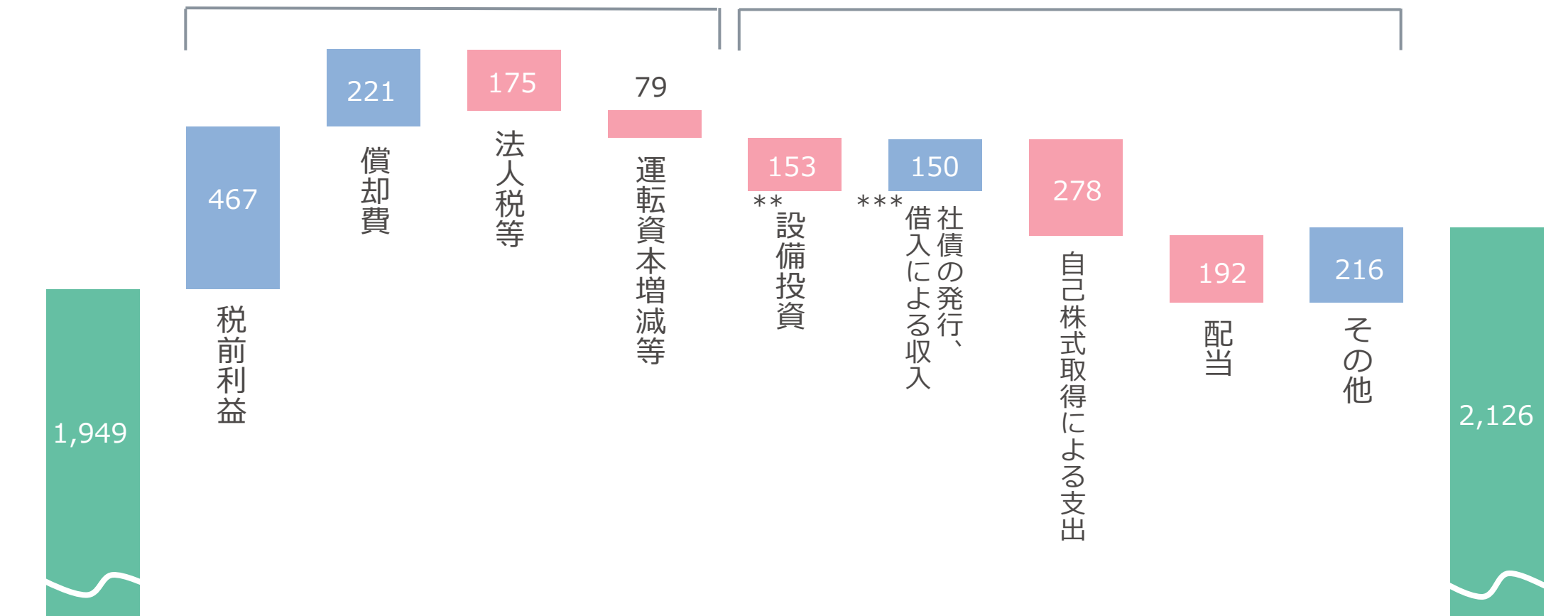
FY24Q3末
現預金残高

キャッシュフロー (Q3)

営業キャッシュフロー
+434

投資・財務キャッシュフロー
-257

(億円)

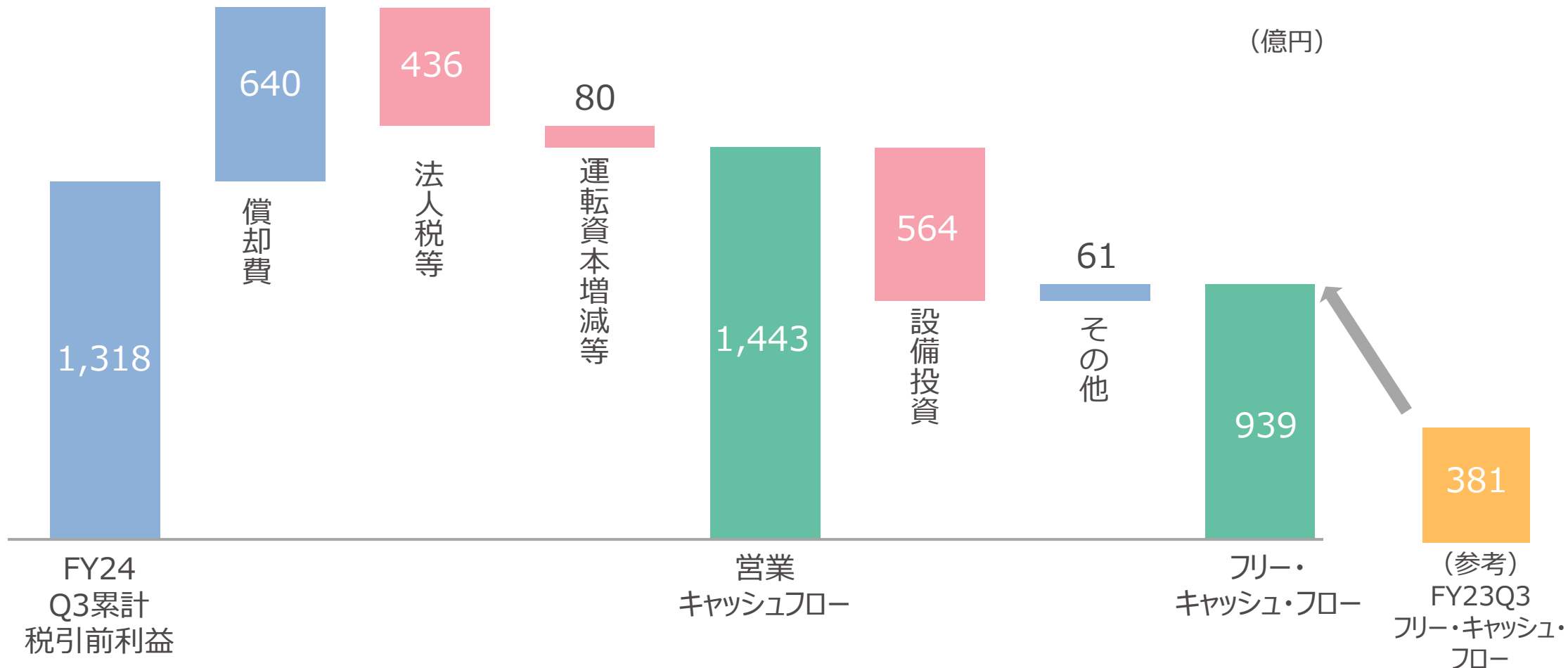


* FY24Q2末
現預金残高

* 期末現預金残高はB/Sの「現金及び現金同等物」と整合
** 建設仮勘定計上ベース
*** 「短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額」を含む

FY24Q3末
現預金残高

フリー・キャッシュ・フロー実績：939億円（前年同期比 +558）



対前年比	+261	+78	-54	+245	+531	-50	+77	+558
------	------	-----	-----	------	------	-----	-----	------

設備投資は建設仮勘定計上ベース

為替感応度

1円の円安に対する年間影響額（フロー）

（億円）

	USD	EUR	中国元
売上収益	25	11	39
調整後営業利益	1	5	23

1円の円安に対する影響額（ストック）

	USD	EUR	中国元
調整後営業利益	-2.5	-0.6	-2.0

